

案内

上智大学グリーンケア 研究所 2016 年度秋期 グリーンケア公開講座

日時：10月6日～12月15日(毎木曜日)
18:45～20:15

会場：上智大学四谷キャンパス(東京都千代田区)

プログラム：〈10/6〉「悲嘆力ー悲嘆を乗り越える力」高木慶子(同研究所特任所長)／〈10/13〉「『死ぬチャンス』を生かす気持ちの作り方ー死を積極的に受けとめ、明るく悔いなく閉じる方法」小林玖仁男(国登録有形文化財「二本屋」主人、文筆家)／〈10/20〉「花一輪咲けばいい」金田諦應(傾聴移動喫茶カフェデモンクマスター、通大寺住職)／〈10/27〉「小児科で出会う子ども達と『希望』」横山恭子(上智大学総合人間科学部心理学科教授、上智大学カウンセリングセンター長)／〈11/10〉「ヨブの嘆き、怒り、和解ー不条理に向き合う」窪寺俊之(聖学院大学大学院客員教授)／〈11/17〉「聖書における『悲嘆』について」英隆一郎(イエズス会会員、カトリック聖イグナチオ(麹町)教会助任司祭)／〈11/24〉「夢見る心に宿るもの」永田萌(イラストレーター、絵本作家、京都市こどもみらい館館長)／〈12/1〉「病院で悲嘆を診るー遺族外来からの現場報告」大西秀樹(埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授)／〈12/8〉「私がこれまでに出会ったこと」日野原重明(聖路加国際大学名誉理事長)／〈12/15〉「子どもたちの悲嘆ーいじめ、リストカット、引きこもり、非行、自死」水谷修(夜回り先生、水谷青少年問題研究所所長、花園大学客員教授)

定員：250名(定員に達し次第締切)

受講料：2万4000円

問い合わせ・申し込み先：上智大学グリーンケア研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

TEL：03-3228-3776

FAX：03-3238-4661

E-mail：grief@clsophia.ac.jp

http://www.sophia.ac.jp/jpn/otherprograms/griefcare

案内

平成 28 年度 熊本大学公開講座

講師：鈴木克明(熊本大学教授システム学専攻・専攻長)

内容：研修・教育をより効果的・効率的・魅力的にするための方法論であるインストラクショナルデザイン(ID)の中から、学習者を動機づけるための手法や、学びを支援するための働きかけに関する理論を事例とともに学び、課題の解決策の糸口をつかむ。

受講料：各7500円

定員：各会場40名(先着順)

対象：学校教職員、医療従事者、企業の研修・教育担当者、そのほか学びや教育を改善したい人

プログラム：1か月程度の事前学習(eラーニング)と対面講座(1日)、事後学習(eラーニング)から構成。(事前学習およびプログラムの詳細は9月上旬までにメールで案内)

日程：各回10:00～16:30

【入門編】(各地同内容)

〈熊本〉10月15日(土)

〈東京〉11月6日(日)※キャンセル待ち

〈大阪〉11月12日(土)

〈名古屋〉11月13日(日)

〈福岡〉11月20日(日)

【応用編】(入門編修了者対象)

〈大阪〉2017年1月14日(土)

〈福岡〉2017年1月15日(日)

〈東京〉2017年1月22日(日)※キャンセル待ち

申し込み：https://kikiyoru.kumamoto-u.ac.jp/event/2016/06/28-1.php

案内

日本エンドオブライフケア 学会設立総会・記念講演会

日時：10月23日(日)10:00～16:00

会場：学士会館(東京都千代田区)

プログラム：講演1「エンドオブライフケアの国際的動向とわが国の課題ー在宅ケアを中心に」島内節(人間環境大学副学長・大学院看護学研究科長・教授)／講演2「日本人の死生観とエンドオブライフケア」浅見洋(石川県立看護大学教授・石川県西田幾多郎記念哲学館館長)／ラン

チ交流会「エンドオブライフケアについておおいに語ろう」内田陽子(群馬大学大学院保健学研究科教授)・葉袋淳子(岐阜医療科学大学保健科学部看護学科長・教授)／対談「わが国のエンドオブライフケアをどうすすめるか」長江弘子(東京女子医科大学教授)・平原佐斗司(梶原診療所在宅総合ケアセンター長、オレンジほっとクリニック所長)／クロージングセレモニー「学会の今後に向けて：人々が支え、支えられ生きている日常性」

定員：200名

参加費：3000円(ランチ代含む)

申し込み：ホームページ(<http://endoflifecare.jp/>)より

※web申し込みができない方は事務局まで

※2017年9月16日(土)・17日(日)学術集会開催予定

問い合わせ：学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL：03-5389-6218

FAX：03-3368-2822

E-mail：jseolc-post@bunken.co.jp

案内

神戸市看護大学 平成 28 年度 看護専門職講座

日時：11月3日(木・祝)14:00～16:00

会場：神戸市看護大学ホール(兵庫県神戸市)

テーマ：看護の癒しー患者や家族と向き合う

講師：北村愛子(大阪府立大学看護学研究科急性・重症患者看護専門看護師)

定員：500名(先着順)

申し込み：往復ハガキまたはEメールにて、「11月3日専門職講座」と明記の上、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、職種(看護師、保健師、助産師等)、学部学生の別を書いて、10月27日(木)までに

問い合わせ先：事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4

神戸市看護大学

TEL：078-794-8080(代)

E-mail：office@tr.kobe-ccn.ac.jp

案内

木村看護教育振興財団 2016 年度東京講演会

日時：11月5日(土) 13:30～17:30

会場：新霞が関ビル全社協・灘尾ホール
(東京都千代田区)

テーマ：「未来を拓く看護の力」—地域医療構想を学ぶとともに地域における医療看護介護の推進に取り組む

プログラム：「地域医療構想をどう策定するか」松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学/産業保健データサイエンスセンター教授)／「Mayo Clinic Healthcare System, Past, Present and Future」Liz A. Boldon(MSN, RN, Mayo Clinic)／パネルディスカッション「地域医療・看護の充実に向けた取組みと看護教育を考える(仮)」片山智栄(新桜町アーバンクリニックナースケア・ステーション所長)、柳澤美津代(東京慈恵会医科大学附属柏病院看護部長)、都築晃(藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター講師)、小島菜保子(同センター訪問看護ステーション管理者・看護科長)、Sherry Wolf(MS, ARPN, ACNS-BC, AOCNS, Mayo Clinic)／パーティ(霞が関ビル 35 階東海大学校友会館・望星の間)

連絡先：事務局(小澤卓矢、小村志津乃、中川玲子)

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8 階

TEL: 03-5800-2700

FAX: 03-5800-0022

E-mail: kimura-info@nurseed.jp

案内

兵庫県立大学 臨床看護研究支援セミナー

日時：11月5日(土) 10:00～16:00

会場：神戸国際会館 805 セミナー室(兵庫県神戸市)

テーマ：セミナーシリーズ「看護研究」授業のゴール設定と組み立て

プログラム：「授業のゴール設定」講義・グループワーク／「授業の組み立て」講義・演習

講師：坂下玲子(兵庫県立大学看護学部教授)、小野博史(同助教)

定員：30 名

参加費：8000 円

申し込み：応募フォーム(<http://kango-kenkyu.org/seminarlist/>)より

申込締切：10月25日(金)

問い合わせ：

<http://kango-kenkyu.org/>

案内

第 22 回日本実存療法学会 および 第 4 回国際全人医療学会

日時：11月12日(土) 10:00～17:00

会場：御茶ノ水ワテラスコモンホール
(東京都千代田区)

テーマ：レジリエントな人間

プログラム：招聘講演「米国の Integrative Medicine—全人的医療を目指して」安西英雄(Anzai & Associates 代表・日米医療コーディネーター)／基調講演「レジリエントな生きざま」永田勝太郎(国際全人医療研究所代表理事)／シンポジウム「レジリエンスを高めるために」“温泉による健康創生”早坂信哉(東京都市大学人間科学部教授)・“退職期の葛藤とケアウィール—居場所と目標の喪失からの精神的回復”立瀬剛志(富山大学大学院医学薬学研究部疫学・健康政策学助教)、藤森純子(NPO 法人みどりの風)・“レジリエンスを高めるための条件”齊藤光子((株)ハートメッセージ)・“レジリエンスの視点からみた水気道”飯嶋正広(高円寺南診療所所長)・“治療の意味の再発見と希望に向かう力”吉津紀久子(大阪大学医学部附属病院健康医療福祉ネットワーク部臨床心理士、国際実存療法士)・“レジリエンスを高める実存療法を探る—震災からの復興を支えるために”宮部修一(くまもと親と子と教員の教育相談室相談員、国際実存療法士)・“ロゴセラピーを基盤としたがん哲学外来の活動”山田圭輔(金沢大学附属病院麻酔科蘇生科准教授)／市民公開講座・鼎談「レジリエントな人生を生き抜いた人たち」永田勝太郎、松永一郎(兵庫医科大学名誉教授)、中西真彦(国家ビジョン研究会代表理事)

参加費：会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、学生 5000 円(抄録・昼食含む)

問い合わせ先：事務局

〒101-0052 東京都千代田区神田小川

町 1-7-901 国際全人医療研究所内

TEL: 03-5577-6841

FAX: 03-5577-6842

E-mail: s.shiwa@nifty.com

案内

京都橘大学看護国際 フォーラム 2016 “End-of-Life Care” 人によりそう看護

日時：11月13日(日) 13:00～16:30

会場：国立京都国際会館 Room B-1(京都府京都市)

講師：Berit Seiger Cronfalk(Ersta Skondal University college, Sweden, Senior lecture, PhD, RN), 吉田智美(滋賀県立成人病センター緩和ケアセンター副センター長)、中尾美千代(訪問看護ステーションこころ所長)、小坂橋喜久代(京都橘大学看護学部教授)

定員：250 名(先着順)

受講料：3000 円

対象：看護職者、一般市民、学生

申し込み：ホームページ申し込みフォームより(9月5日(月)～)

問い合わせ：京都橘大学エクステンションセンター(学術振興課)

TEL: 075-574-4186(直通)

FAX: 075-574-4149

E-mail: aca-ext@tachibana-u.ac.jp

http://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/extention/2016/02/end-of-life-care.html

案内

神戸市看護大学 第 18 回国際フォーラム

日時：11月26日(土) 14:00～17:00

会場：神戸市看護大学大学ホール(兵庫県神戸市)

テーマ：看護研究における混合研究法の基礎と実践—遠隔医療を用いた疼痛マネジメントの確立に向けて

講師：Ardith Doorenbos(University of Washington)

プログラム：講演 1「看護研究における混合研究法の基礎」、講演 2「遠隔医療を用いた疼痛マネジメントの検証」、質疑応答 ※逐次通訳あり

INFORMATION

参加費：一般 2000 円，学生 1000 円
申し込み：往復ハガキまたは E メールにて，「第 18 回国際フォーラム」と明記の上，住所，氏名（ふりがな），電話番号，職種（看護師，保健師，助産師等），学部学生のを別を書いて，11 月 4 日（金）までに（先着順）。※空席があれば当日入場可
問い合わせ先：神戸市看護大学「第 18 回国際フォーラム」事務局
〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4
TEL：078-794-8080（代）
FAX：078-794-8086（代）
E-mail：kokusai@tr.kobe-ccn.ac.jp
http://www.kobe-ccn.ac.jp

案内

第 26 回国際看護師協会 (ICN) 4 年毎大会

日時：2017 年 5 月 27 日（土）～6 月 1 日（木）
会場：スペイン・バルセロナ国際会議場
テーマ：最前線の看護師たち—ケアの変容
プログラム：開会式／世界的な看護リーダーによる基調講演／各国からの看護師

による演題発表／スペインの看護実践や保健医療について学べる大会主催の施設見学ほか

対象：看護職，看護学生，その他
参加費：（前期参加登録費）ICN 会員 525 ユーロ，非会員 660 ユーロ，学生 240 ユーロ

参加登録：前期参加登録開始は 10 月 10 日より。2017 年 2 月 17 日締切

申し込み：URL 参照のこと。日本語での参加登録代行を 10 月下旬以降に開始予定。詳細は下記日本看護協会 web サイト参照

問い合わせ先：公益社団法人日本看護協会国際部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

TEL：03-5778-8559

FAX：03-5778-8478

E-mail：kokusai@nurse.or.jp

URLICN4 年毎大会ウェブサイト（英語）

http://www.icnbarcelona2017.com/en/

日本看護協会ウェブサイト（日本語）

http://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/update/taikai/index.html

案内

日本看護協会 個人向けインターネット 配信研修（配信中）

配信期間：～2017 年 2 月 13 日（月）13：00

申込期間：～2017 年 1 月 31 日（火）13：00

プログラム：平成 28 年度厚生労働省委託がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア等研修事業「地域緩和ケアに携わる看護師に必要な知識と実践—基本的知識から看護相談，地域間・専門家との連携まで」

対象：地域緩和ケアに携わる医療従事者

定員：設定定員数に達し次第締め切り

受講料：無料

申し込み：ホームページより

http://www.nurse.or.jp

→生涯学習支援→研修→インターネット配信研修[オンデマンド]

問い合わせ：日本看護協会オンデマンド担当事務局

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3

TEL：042-492-7325

FAX：042-492-7451

E-mail：ky-od@nurse.or.jp